# 会社概要と成長戦略



公式マスコットキャラクター
パンチマン

2026年９月５日

パンチ工業株式会社

（証券コード：6165　東証スタンダード）

# ひと目でわかるパンチグループ




**設立**

1975年3月

**上場**

2012年　株式上場
2023年　スタンダード市場

**生産拠点**

| 日本 | 海外 |
|---|---|
| 4ヵ所 | 8ヵ所 |

**金型部品業界のシェア（当社推計）**

| 特注品 | カタログ品 |
|---|---|
| 世界1位 | 世界2位 |

**販売拠点**

| 日本 | 海外 |
|---|---|
| 11ヵ所 | 42ヵ所 |

**売上高比率（2026年3月期）**

| 日本26% | 海外74%（中国59%） |
|---|---|

**従業員数（2026年3月）**

| 日本 | 海外 |
|---|---|
| 676名 | 2,804名 |

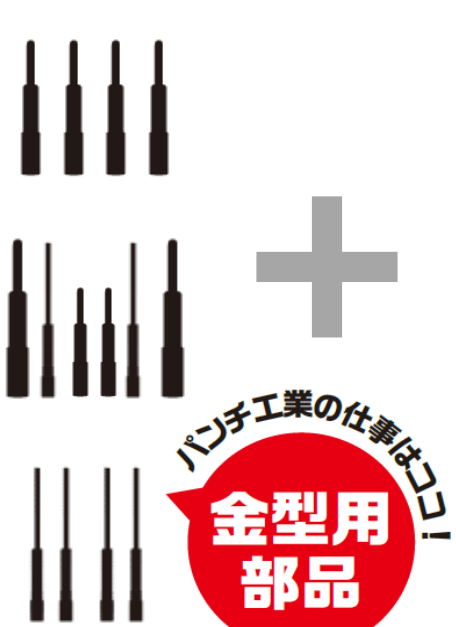
**コーポレート・ガバナンス**

社外取締役比率50%
（取締役会議長は社外取締役）


© PUNCH INDUSTRY

# 金型部品とは

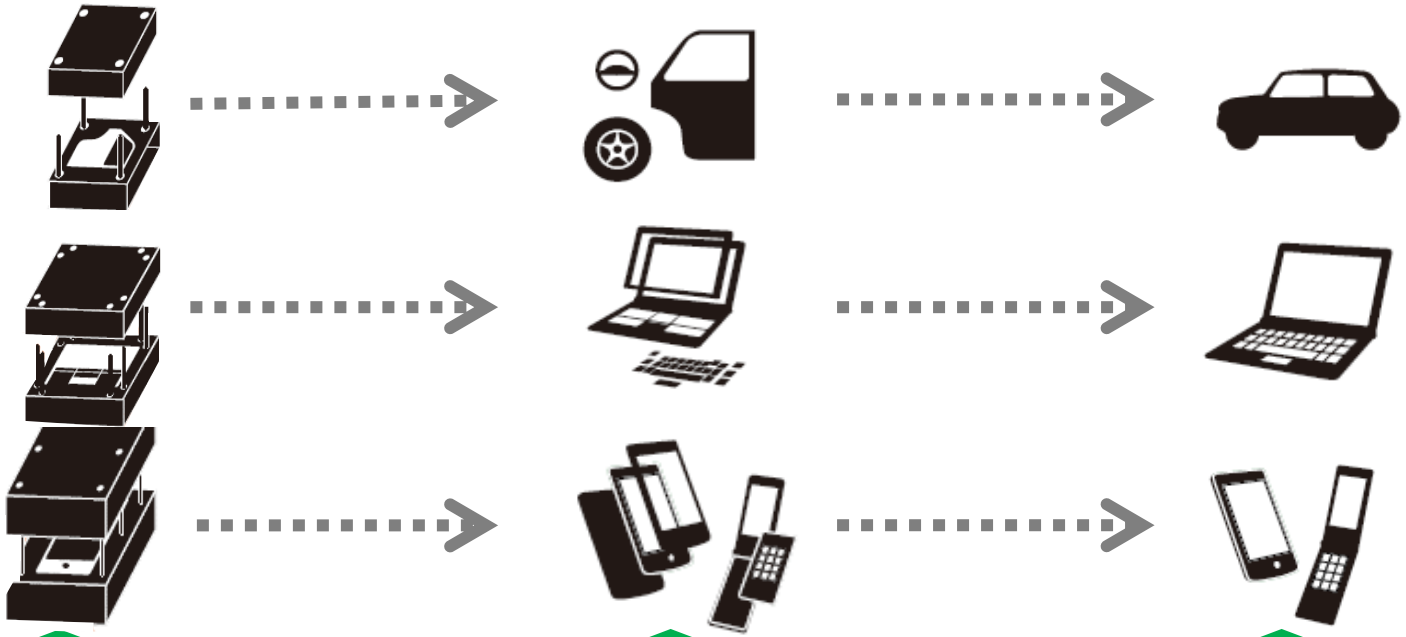
**金型を構成するために必要不可欠な存在　豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」**



パンチ工業の仕事はココ！
金型用部品

たとえばこんな部品





**金型**

構成部品を速く、均一に、大量につくるための金属でできた「型」

**構成部品**

製品を構成するために必要となるパーツ

**製品**

自動車や家電などのさまざまな製品


© PUNCH INDUSTRY

# パンチグループの強み

**高精度を要求される【特注金型部品】の分野で世界シェア1位** ※当社推計

**お客様に高い満足度を提供**

## カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインアップ

OFFICIAL ONLINE STORE PunchCoco




タイムリーで
的確な
ソリューション

**一気通貫の生産体制**
2,000台の設備による
幅広い対応力

**お客様密着型の営業体制**
ニーズに沿ったきめ細かな
対応・提案力

**高い技術力**
創業以来培ったノウハウと
たゆまぬ研究開発

## 特注品

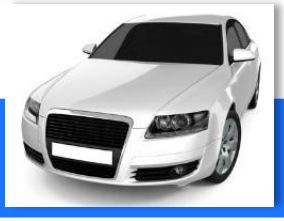
お客様の図面をもとに加工
カスタムニーズにも柔軟に対応




© PUNCH INDUSTRY

# エンドユーザーのイメージ（例：自動車業界）

業界に関わらず、ものづくりの上流から下流までの様々な企業とお取引



自動車メーカー





ボディ・外装・シート・コネクター等のメーカー



金型 メーカー



パンチグループ


© PUNCH INDUSTRY

# パンチグループのネットワーク

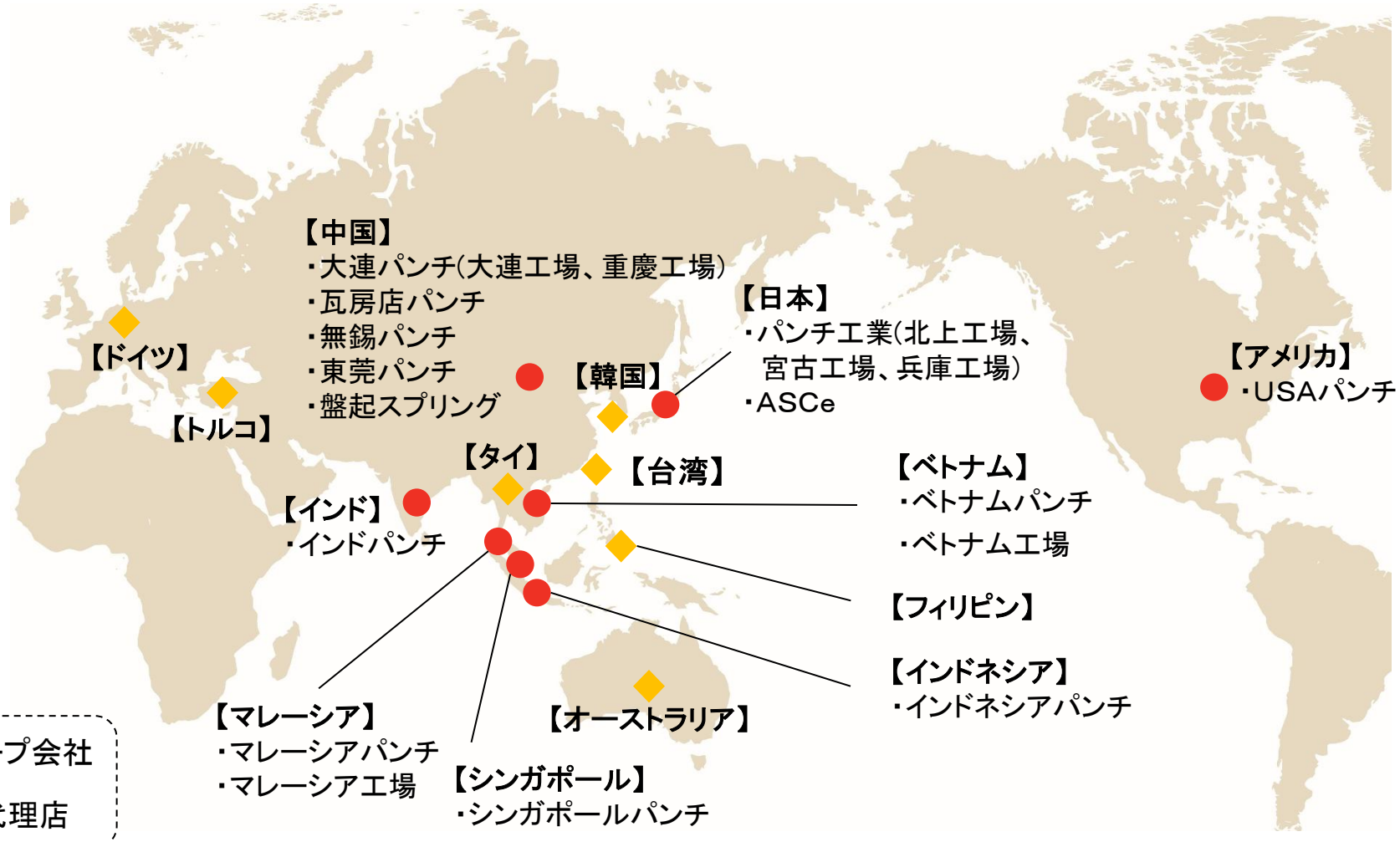
**グループ会社は世界8ヵ国に所在　世界40ヵ国の1万5000社と取引**

### 生産拠点数

| 日本 | 海外 |
|---|---|
| 4 ヵ所 | 8 ヵ所 |

### 販売拠点数

| 日本 | 海外 |
|---|---|
| 11 ヵ所 | 42 ヵ所 |

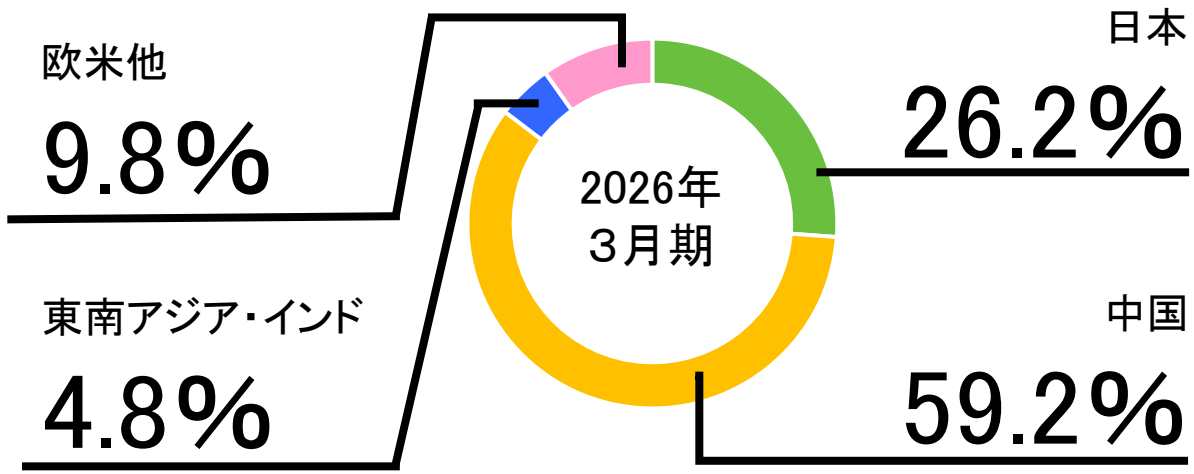




© PUNCH INDUSTRY

# 地域別・業種別 売上高構成比

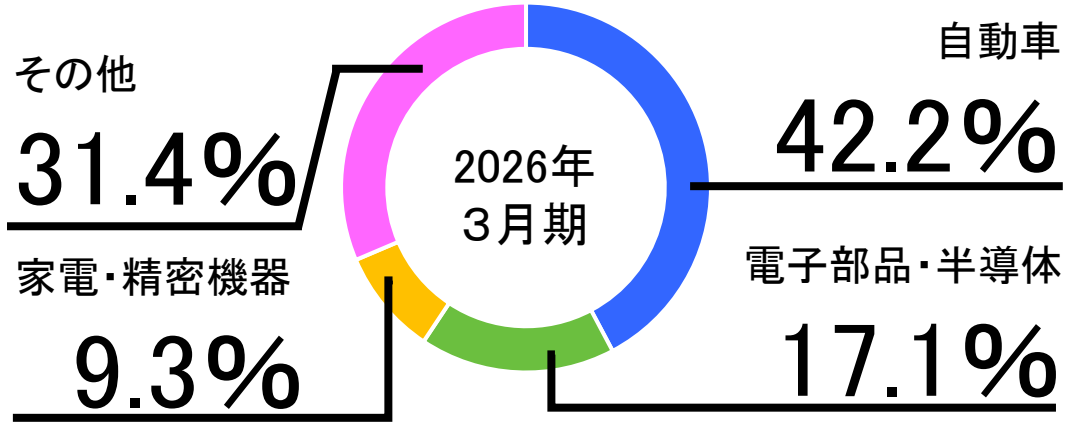
## 地域別売上高構成比




**【地域別】**
- 日本と中国で連結売上の約85%を占める
- 他地域の成長機会や市場開拓を目指して活動を継続中

**【業種別】**
- 幅広い業種と取引、安定性◎
- 約3割を占める「その他」には商社、特に高精度を求められる飲料容器・医療関連等が該当

## 業種別売上高構成比





© PUNCH INDUSTRY

# 今後の成長戦略

# パンチグループのパーパス

**パンチグループがこの先の未来に進むための、パンチグループの存在意義**

ものづくりによる信頼、

真摯な技術、自由な創造力で、

次世代の豊かな未来をカタチづくる


© PUNCH INDUSTRY

# 長期ビジョン「Vision60」

## ～脱・金型部品依存～

事業領域を拡大し、絶え間なく変化する社会の多様なニーズに貢献する企業グループを目指す

パーパスと未来予測から
導きだす10年後（60周年）
のパンチグループの姿



パーパス

ものづくりによる信頼、
真摯な技術、自由な創造力で、
次世代の豊かな未来をカタチづくる

企業アイデンティティ
「パンチスピリット」

創業者精神への回帰
チャレンジ・創意工夫・自由闊達

長期ビジョン「Vision60」

中期経営計画
バリュークリエーション

◆ 本資料では
バリュークリエーションを
VC（Value Creation）と表記

10年後の連結業績
（2034年度）

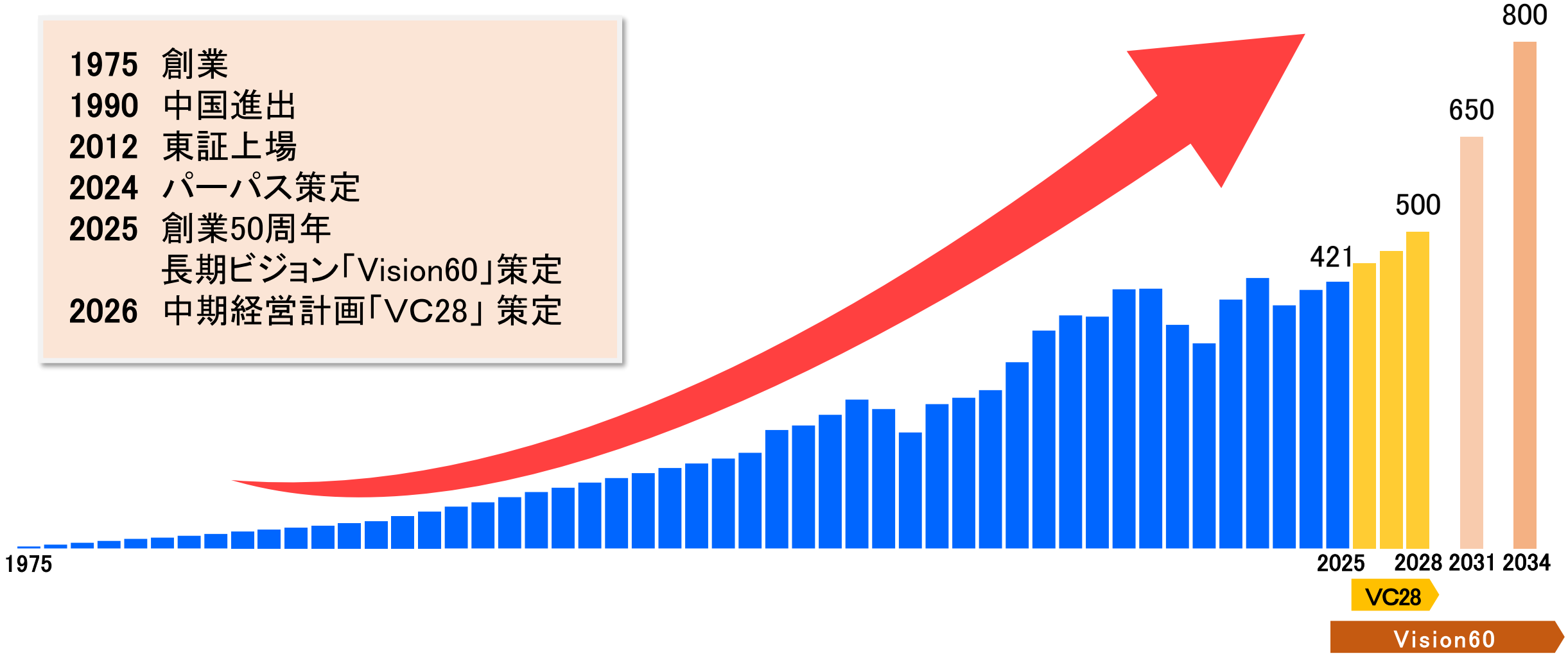
| | |
|---|---|
| 売上高 | 800億円 |
| 営業利益 | 80億円 |
| 営業利益率 | 10% |


© PUNCH INDUSTRY

# 売上高の推移

**Vision60の最終年度(2034年度)に売上高800億円を目指す**

| | |
|---|---|
| 1975 | 創業 |
| 1990 | 中国進出 |
| 2012 | 東証上場 |
| 2024 | パーパス策定 |
| 2025 | 創業50周年<br>長期ビジョン「Vision60」策定 |
| 2026 | 中期経営計画「VC28」策定 |





© PUNCH INDUSTRY

# 成長軌道イメージとVC28の位置づけ

**強固な金型部品事業をエンジンに、新たな価値創造と事業領域を拡大**

VC28（27.3～29.3期）
最終年度目標
売上高　500億円
営業利益　34億円
営業利益率　6.8%

■重点経営課題
- DX推進により、収益性の向上と生産体制の最適化を推進する
- FA事業を第2の収益柱として確立する（M&Aを含む）　※FA（ファクトリーオートメーション）
- R&Dを通じて高付加価値の創出を推進する（宇宙関連分野等）

VC31（30.3～32.3期）
最終年度目標
売上高　650億円
営業利益　52億円
営業利益率　8.0%

VC34（33.3～35.3期）
最終年度目標
売上高　800億円
営業利益　80億円
営業利益率　10.0%

収益性の改善期

FA・新事業・新地域の育成期

FA・新事業・新地域の成長期


© PUNCH INDUSTRY

# VC28の最終年度に目指す姿

**「収益性の改善」と「次の成長に向けた基盤構築」に集中**

ROICは計画期間を通じてWACCを安定的に上回り、
ROEは最終年度8.0%を目指す

安定的なキャッシュ創出と、規律ある成長投資の
両立を目指す

企業価値の持続的向上によって、PBR1.0倍超の
安定的達成を目指す




© PUNCH INDUSTRY

# VC28の重点施策

**VC28は、成長投資の原資を創出する「収益性の改善期」**

## 既存事業の持続的成長
収益性の改善

### 売上拡大
- ■特注品の拡販
- ■精密微細加工品の受注獲得
- ■地域と業種の絞込営業

### 収益改善
- ■特注製造特化
- ■海外調達強化
- ■間接業務DX化
- ■ミスミGとの連携で生産・物流の最適化

## FA事業の拡大による成長
～脱・金型部品依存～

### M&A
- ■総額30億円を投資として想定
- ■資金はフリーC/F、借入の順
- ■シナジー創出の管理強化

### 事業拡大
- ■FA装置の販売強化
- ■営業の広域化
- ■外部委託先の拡充
- ■Web活用

## R&Dによる価値創出
多様なニーズに貢献

### P-Bas® 航空宇宙
- ■航空宇宙関連でJAXA連携
- ■M&A検討
- ■硬脆材料・非金属加工技術の革新

### 新事業
- ■金型派生事業の事業性検証
- ■社内ベンチャー制度導入検討

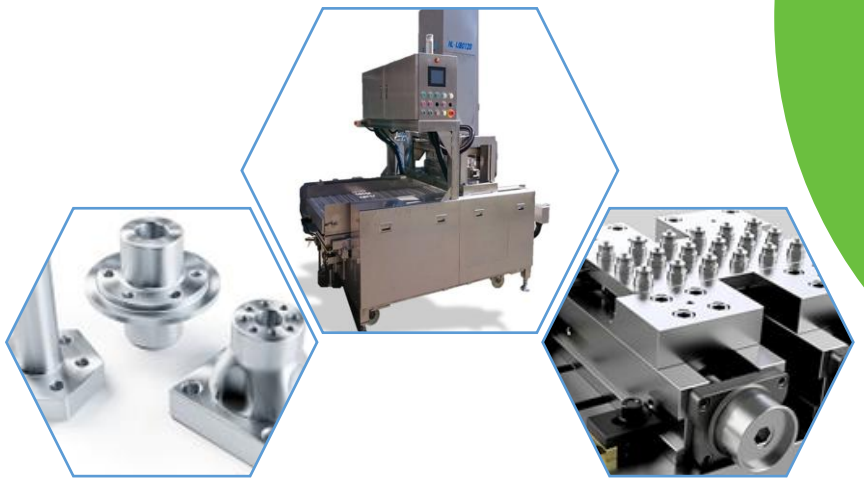
ROIC経営の浸透＋投資判断基準の整備＋人的資本経営の強化　⇒　最適資本構成と財務の健全性の維持

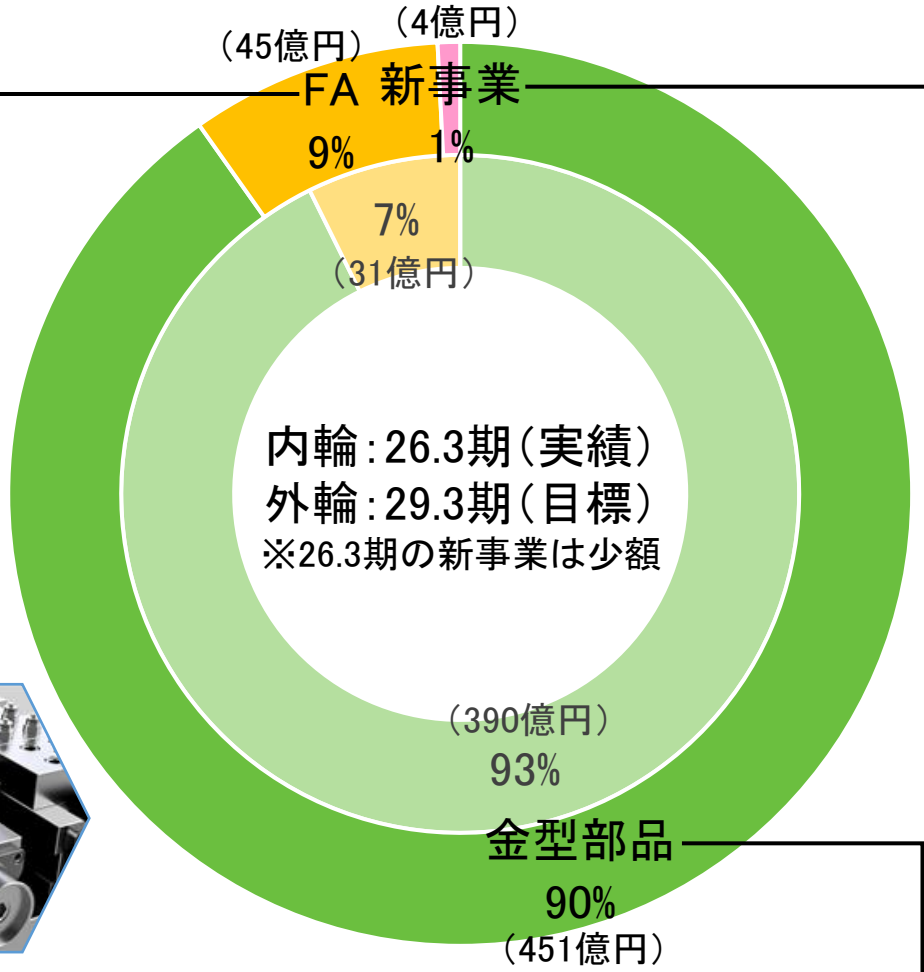

© PUNCH INDUSTRY

# 事業ポートフォリオ戦略

## 時代が求める事業の探求と事業領域の拡大を実現

【成長領域】FA事業
- ●事業役割
  - ➢自動化・省人化を軸に、M&A含む資源を最優先投入
- ●事業戦略
  - ➢既存事業のクロスセル深化とM&Aで技術獲得し成長確実化






【将来成長】新事業・R&D
- ●事業役割
  - ➢中長期の成長機会を見据えた将来成長領域であり第3の柱化が目標
- ●事業戦略
  - ➢生産リソースの最適活用
  - ➢技術応用・進化と顧客横展開
  - ➢投資規模を管理しつつ育成推進

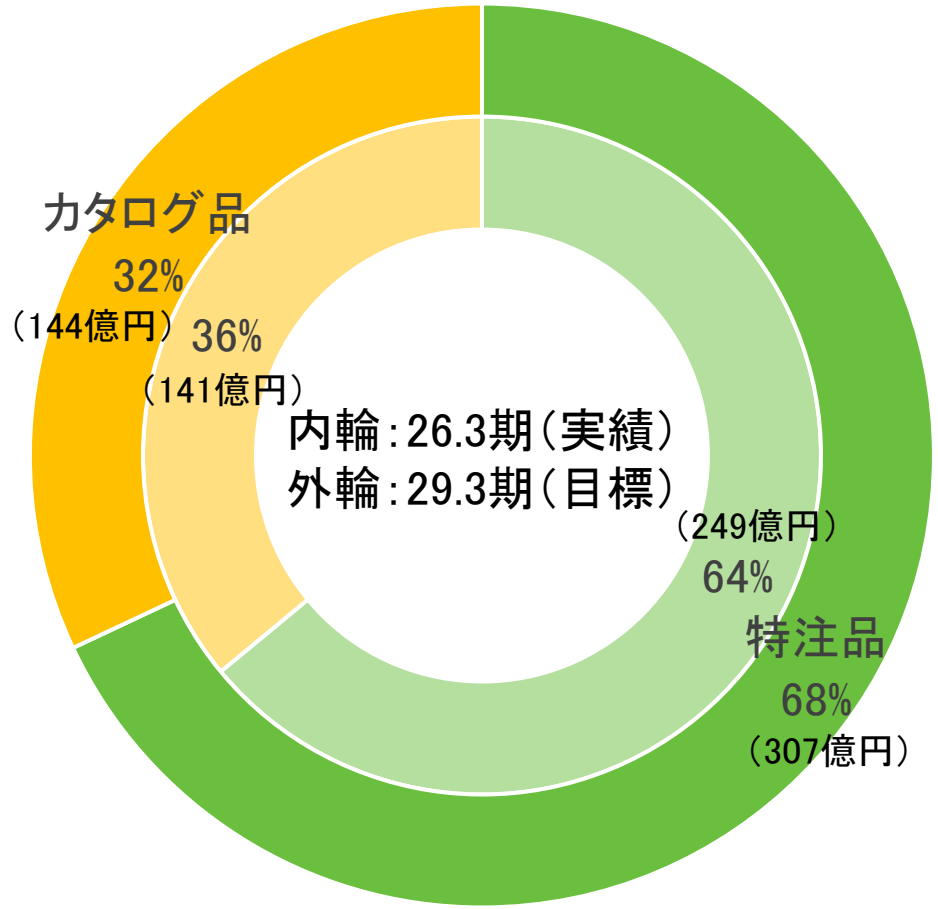


【コア事業】金型部品事業
- ●事業役割
  - ➢グローバルで安定した収益を創出する収益基盤
- ●事業戦略
  - ➢特注品特化
  - ➢精密微細加工品の受注獲得
  - ➢DX推進による生産効率改善


© PUNCH INDUSTRY

# 金型部品事業戦略

## キャッシュ創出と資本効率改善を担う、VC28の中核事業




●事業の基本方針
- ➢VC28では「収益性の改善」を重視
- ➢グローバルで安定したキャッシュ創出事業と位置づけ

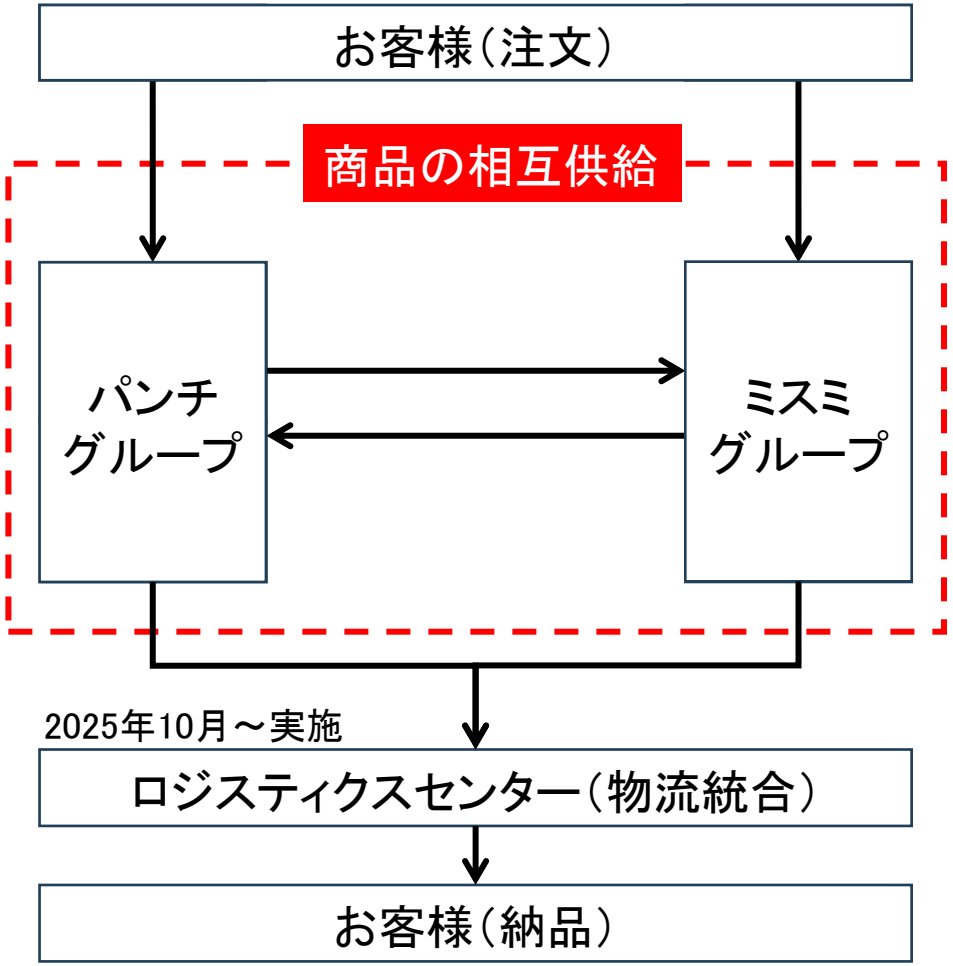
●重点施策
- ➢特注品特化による粗利率向上
- ➢海外調達・ミスミG協業による原価低減
- ➢間接業務DX化

●VC28で目指す姿
- ➢安定利益とキャッシュをFA・新事業へ再配分
- ➢ROIC改善の“土台”を担う事業


© PUNCH INDUSTRY

# ミスミグループ本社との資本業務提携

## 2024年10月契約締結　標準品×特注品の協業でグローバルな安定供給を実現




■ 協業による両社の強みを活かしたシナジー実現を目指す
- カタログ品、特注品の相互供給
- 商品相互供給の効率化に向け物流機能の統合を行い、ミスミグループのロジスティクスセンターを活用
- 両社製造拠点の最大活用
- 海外市場における協業策の具体化

■ パンチグループが対応すべき事項
- 設備投資・人財育成含めた特注品の生産能力向上
- 特注品取り込みのための営業強化
- R&D強化により事業領域の拡大

◆「Vision60」に掲げた“社会の多様なニーズに貢献する”ために、資本業務提携による協業で販路を拡大

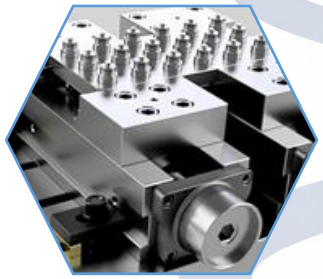
**資本業務提携の効果として、29.3期までに累計6～8億円の利益創出（当社単独）**


© PUNCH INDUSTRY

# FA事業戦略

## 金型部品に続く第2の収益柱として本格的に育成

■FA事業 成長ストーリー



組付部品

●市場成長
➢自動化需要



簡易金属部品

●パンチグループの強み
➢技術×顧客基盤×FA実績

●FA事業拡大
➢装置＋ソリューション



ニードルレス
インジェクター

**目指す姿**
**中長期的な利益成長**

●FA市場環境と機会
➢人手不足・自動化ニーズを背景に中長期で成長

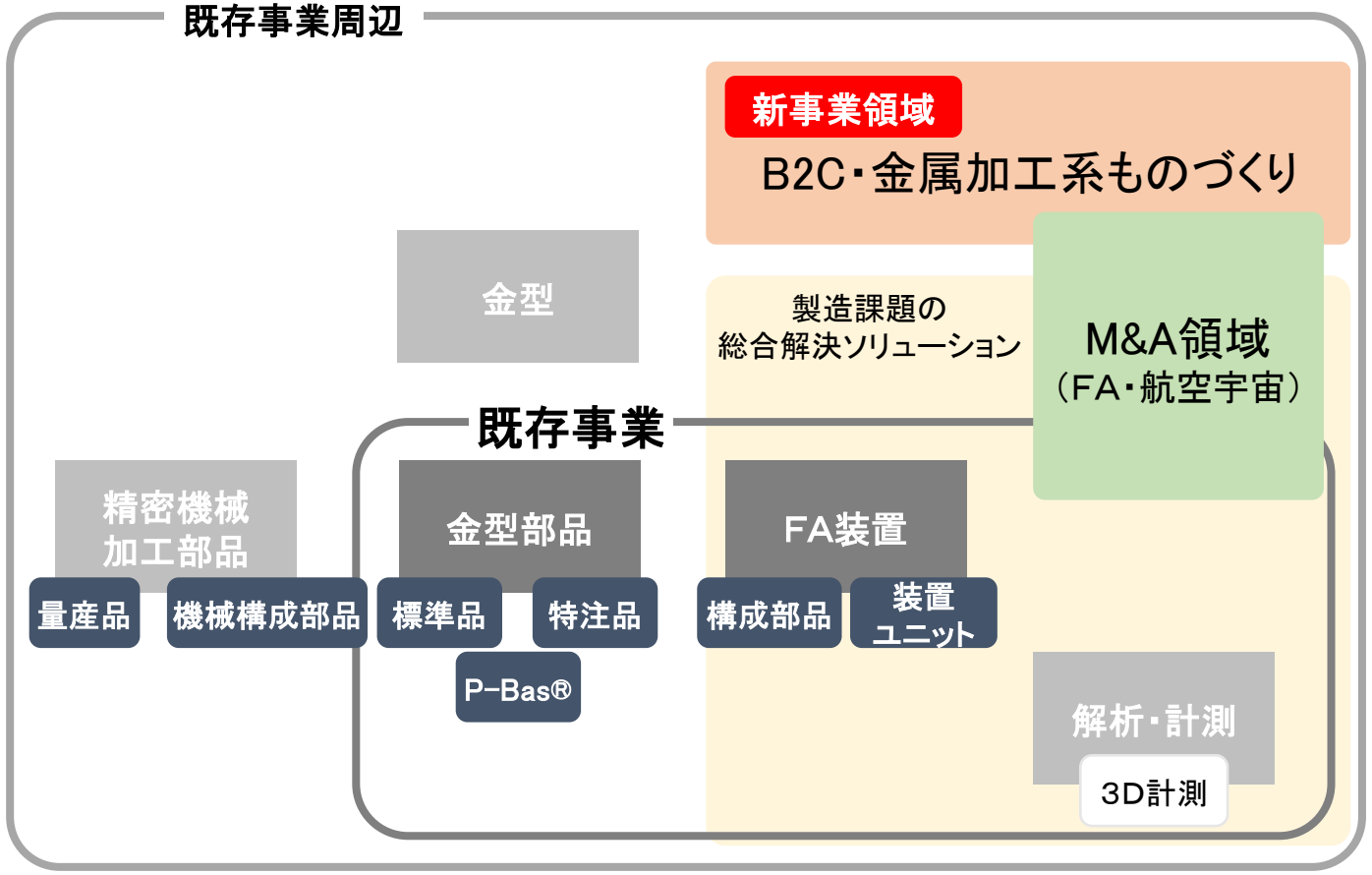
●重点施策
➢LA（ラボラトリーオートメーション）分野への参入
➢オリジナル商品（ニードルレスインジェクター、分注装置）の市場への深耕と拡販
➢金型部品で培った顧客基盤を活かしたFA展開
➢装置販売と工程改善ソリューションのセット提案
➢M&Aは総額30億円を投資として想定し、資金はフリーC/F、借入の順
➢シナジー創出の管理強化

●VC28で目指す姿
➢育成から本格成長への移行期
➢次期中計に向けた収益柱として確立


© PUNCH INDUSTRY

# 新事業戦略

## 既存技術を起点に、成果を見極めながら段階的に拡張していく事業育成方針




- 位置づけ
  - ➢既存技術・設備・顧客基盤を活かした事業創出を推進
  - ➢金型部品・FAに続く、「第3の柱候補」
  - ➢VC28では“拡大”より“選別と検証”を重視
- 重点テーマ
  - ➢P-Bas®、航空宇宙関連など既存技術延長線
  - ➢外部連携・M&Aも視野に入れた展開
  - ➢硬脆材料・非金属加工技術の革新
  - ➢社内ベンチャー制度導入検討
- 投資スタンス
  - ➢投資規模・リスクを管理しながら段階的に展開
  - ➢次期中計以降の成長ドライバー創出が目的


© PUNCH INDUSTRY

# 航空宇宙産業への取組み

**2025年3月、月面探査車YAOKIの月面稼働に3D計測技術で貢献**
**今後は精密加工技術を活かしてYAOKI本体部品も提供予定**




●2025年3月　月面探査計画 Project YAOKI 1（PY1）
- 宇宙ベンチャーのダイモン社と技術パートナー契約を締結
- 3D計測技術を活用し、YAOKI本体と輸送コンテナの隙間を高精度に計測
- 打上げ・輸送時に機体を保護する振動吸収材の最適設計を支援し、打上げに必要な品質保証要件への適合をサポート
- YAOKIは月面での写真撮影に成功



3Dスキャナによる測定


測定したYAOKIの輸送コンテナ


YAOKI車輪

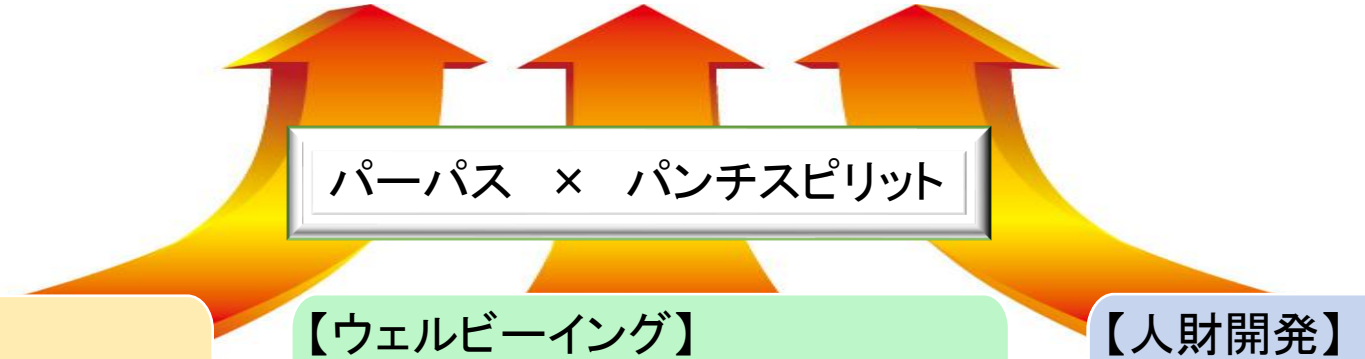
●Project YAOKI 2（PY2）（進行中）
- 当社は、3D計測技術の提供に加えYAOKI本体に装着するモーター保持の金属部品や車輪本体を開発・加工
- 月面模擬環境での共同実験にも貢献

宇宙産業で得られた技術を既存事業や新事業に活かし、企業価値向上を図る


© PUNCH INDUSTRY

# 人的資本経営に関する取組み

人的資本経営の“ありたい姿”
多様な人財が自律的に活躍し、信頼とつながりに基づく職場文化の中で、企業価値向上に貢献する組織




**【DE＆I 推進】**

多様な従業員が強みを発揮でき、働きがいのある組織を目指す

- 多様な働き方の対応
- 離職防止と定着支援
- 女性活躍推進
- 社内教育の専門部署「パンチアカデミー」設置
- 社内コミュニケーションの活性化

**【ウェルビーイング】**

従業員が安心・安全・健康に働くことのできる環境の提供

- 健康経営促進
- 職場環境整備
- （社員間）関係の質向上
- リスクアセスメント体制の強化
- エンゲージメント向上
- 従業員支援プログラムの整備

**【人財開発】**

自ら考え自発的に行動し、成果に繋げられる人財の育成

- 「人財育成ガイドブック」による各種研修
- 人財データの分析と活用
- 人事制度改定・見直し
- キャリア自律支援
- グローバル人財育成

※DE＆I 推進
- ダイバーシティ（多様性）・エクイティ（公平/公正性）・インクルージョン（包摂性）
- 多様な人財が共に働く組織において、個々のニーズに応じた対応を行うことで、それぞれが活躍し、継続的に成果を発揮するための考え方


© PUNCH INDUSTRY

# サステナビリティへの取組み

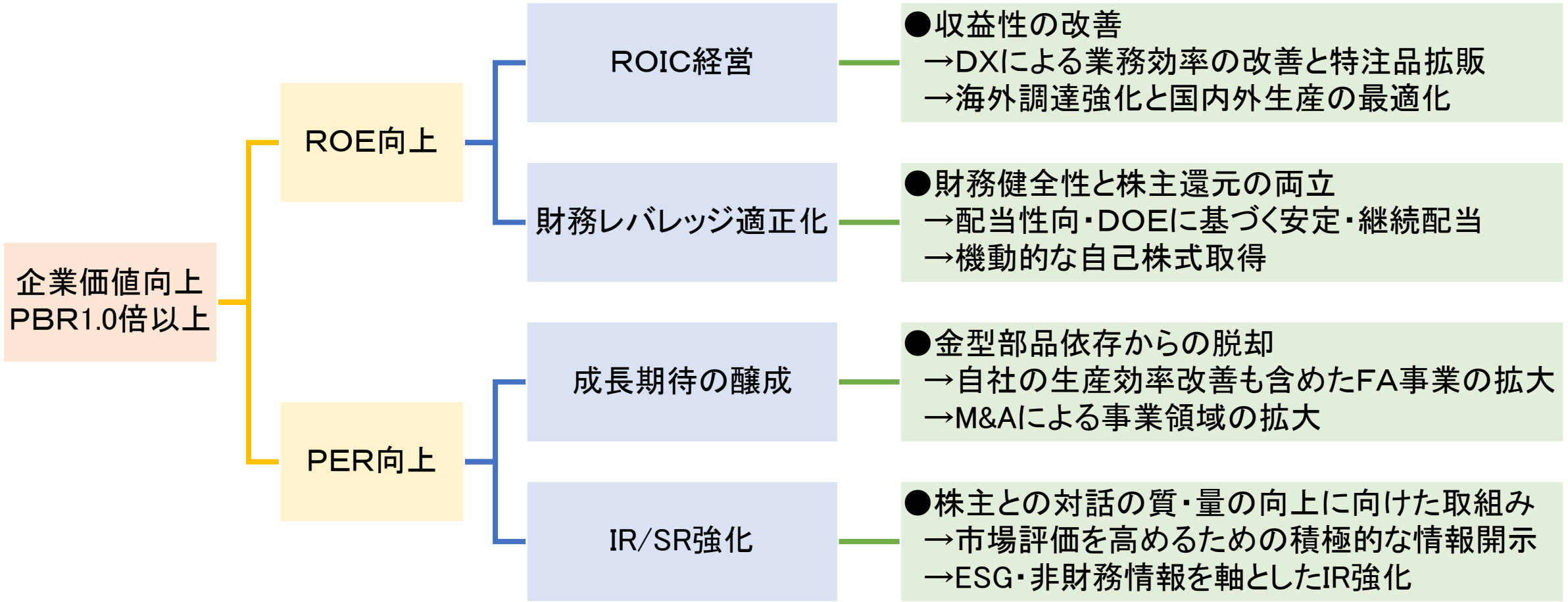
## 世界のものづくりを支える企業として、優先的に取組むマテリアリティを特定し活動中

| | マテリアリティ | 主な取組み | 内容 | 実績（一部抜粋） |
|---|---|---|---|---|
| 環境 | 地球環境への配慮 | CO2排出量削減 | 気候変動リスクへの対応、温室効果ガス排出量の削減 | グループ全体でCO2排出量12.3%削減（2025年実績、2018年度比） |
| | | 廃棄物削減 | 資源の有効活用、産業廃棄物の削減とリサイクル | 廃棄物排量30.4%削減（2025年度実績、2018年度比） |
| | | 環境化学物質管理 | 環境法規制への適合製品の提供、化学物質の適正管理 | RoHS指令への対応 |
| 社会 | 人権の尊重 | 人権の尊重 | 人権デューディリジェンス実施 | 「パンチグループ人権方針」等の策定<br>人権デューディリジェンスの実施 |
| | 人的資本経営の推進 | 人的資本経営の推進 | 能力を発揮できる職場環境整備 | 全役職者に占める女性役職者比率：16.7%<br>男性社員の育休取得率：100%（ともに2025年度実績） |
| | 「製品・サービス」を通じた社会への貢献 | FA | 労働力不足など社会課題の解決に向けた技術開発 | 協働ロボットの開発 |
| | | P-Bas® | | 金属一体化技術「P-Bas®」の開発 |
| | | 航空宇宙 | | 月面探査計画、再使用ロケット実験への貢献 |
| ガバナンス | コーポレート・ガバナンス | コーポレート・ガバナンスの強化 | 経営の透明性と信頼性の向上 | 取締役会構成のうち、社外取締役比率：50%（4名）<br>取締役会構成のうち、女性取締役比率：25%（2名）<br>取締役会議長は独立社外取締役 |


© PUNCH INDUSTRY

# 資本コストや株価を意識した経営の取組み

**資本収益性の向上と成長ストーリーの具体化を両輪に、企業価値向上を実現**





© PUNCH INDUSTRY

# VC28期間中のキャピタルアロケーション

**財務基盤の健全性を確保し、成長投資を最優先に株主還元へも注力**

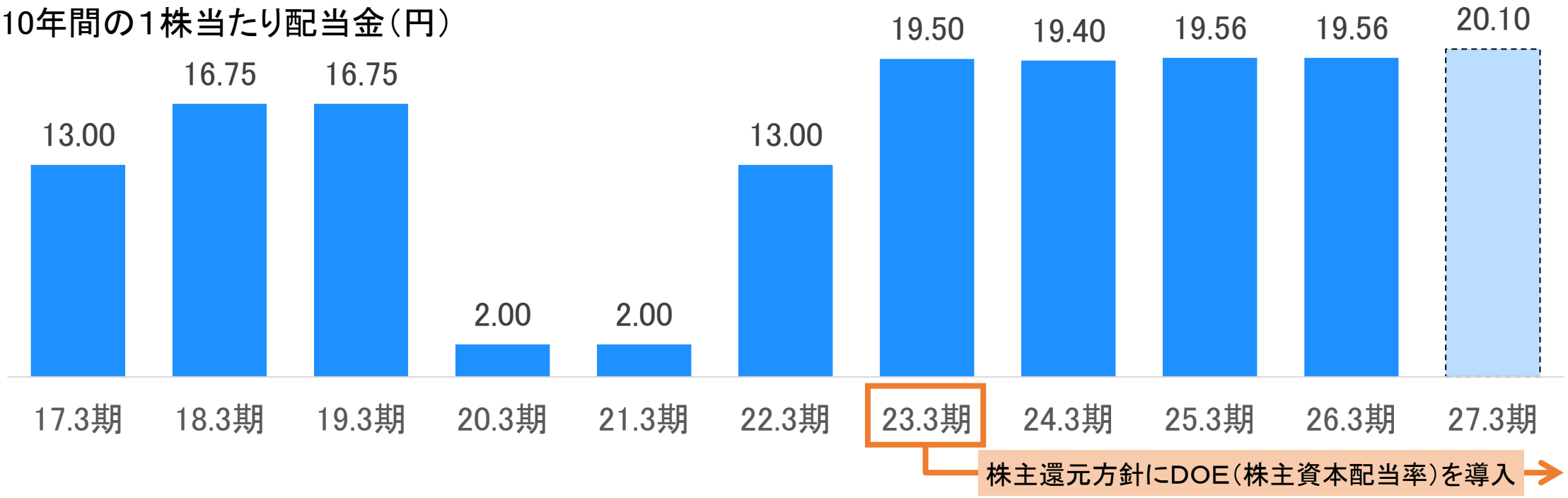
| キャッシュイン | キャッシュアウト | | |
|---|---|---|---|
| 有利子負債の活用<br>約30億円 | M&A投資<br>約30億円 | 成長投資 | ●M&A投資<br>➢FA事業拡大<br>➢その他の新事業拡大 |
| | BCP投資（永続成長）<br>約10億円 | | |
| 営業C/F<br>約72億円 | 設備投資<br>約45億円<br>【VC28の減価償却費計】<br>約35億円 | | ●設備投資<br>➢収益性改善のためのDX投資<br>➢自動化・省力化、特注品特化に向けた投資<br>●R&D投資<br>➢金属一体化技術「P-Bas®」<br>➢航空宇宙分野への取組み強化 |
| | 株主還元<br>約17億円 | 株主還元 | ●配当性向30%以上、かつDOE3%以上<br>●機動的な自己株式取得 |


© PUNCH INDUSTRY

# 株主還元方針

**【安定配当方針】配当性向30%以上・DOE3%以上の高い方を選択**
**足もとの配当利回りは3.67%（8/28時点、548円）**

■直近10年間の1株当たり配当金（円）




| | 17.3期 | 18.3期 | 19.3期 | 20.3期 | 21.3期 | 22.3期 | 23.3期 | 24.3期 | 25.3期 | 26.3期 | 27.3期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| DOE | − | − | − | − | − | − | 3.0% | 3.0% | 3.0% | 3.1% | 3.1% |
| 配当性向 | 20.6% | 20.4% | 38.1% | − | 9.1% | 13.9% | 33.5% | − | 58.1% | 63.2% | 46.2% |

※20.3期および24.3期は純利益がマイナスであり、配当性向がマイナスと計算されるためハイフンにて表示
※株主資本改善を迅速に配当に反映するため、25.3期以降DOE算出を期末株主資本基準に変更


© PUNCH INDUSTRY

# 投資家との対話の質・量の向上に向けた取組み

**分かりやすく誠実な情報発信を目指して 定期的に情報を発信中**




■公式YouTube開設
https://www.youtube.com/@punchindustry_official
➢決算説明動画の他、当社の精密金型部品加工の技術や社員紹介の動画を掲載

■個人投資家の皆様
➢企業Webサイトよりお問い合わせを受付
https://www.punch.co.jp/contact/contact_news_ir.html
（IRお問い合わせフォーム）
➢個人投資家向け説明会を積極的に開催予定

■情報開示・PRの強化
➢プレスリリースおよび東証PR開示を積極的に活用

当社IRサイト　https://www.punch.co.jp/ir/


© PUNCH INDUSTRY

直近の決算

# 2027年3月期 第1四半期 決算概要

# 損益計算書サマリー（1Q比較）

（単位：百万円）

| | 2026年3月期 | | 2027年3月期 | | 前年同期差 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | 10,171 | | 10,852 | 680 | +6.7% |
| 営業利益 | 3.8% | 384 | 5.2% | 566 | 182 | +47.4% |
| 経常利益 | 3.3% | 338 | 5.3% | 572 | 234 | +69.3% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1.4% | 145 | 3.5% | 375 | 230 | +158.8% |

【為替レート（実績）】 1人民元＝22.57円／1USドル＝156.48円


© PUNCH INDUSTRY

# 2027年3月期　通期連結業績及び配当の予想を修正

（単位：百万円）

| | 2026年3月期（実績） | 2027年3月期　連結累計期間 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 前回予想（5/13公表） | 修正予想（8/7公表） | 前期差（前期比） | 前回予想差（前回予想比） |
| 売上高 | 42,100 | 45,000 | 45,500 | 3,400 (+8.1%) | 500 (+1.1%) |
| 営業利益 | 4.8% 2,031 | 5.1% 2,300 | 5.3% 2,400 | 369 (+18.1%) | 100 (+4.3%) |
| 経常利益 | 5.2% 2,201 | 5.0% 2,250 | 5.3% 2,400 | 199 (+9.0%) | 150 (+6.7%) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2.0% 851 | 2.4% 1,100 | 2.6% 1,200 | 349 (+40.9%) | 100 (+9.1%) |
| 自己資本利益率（ROE） | 5.0% | 6.2% | 6.8% | 1.8 pt | 0.6 pt |
| 投下資本利益率（ROIC） | 7.0% | 7.7% | 8.1% | 1.1 pt | 0.4 pt |

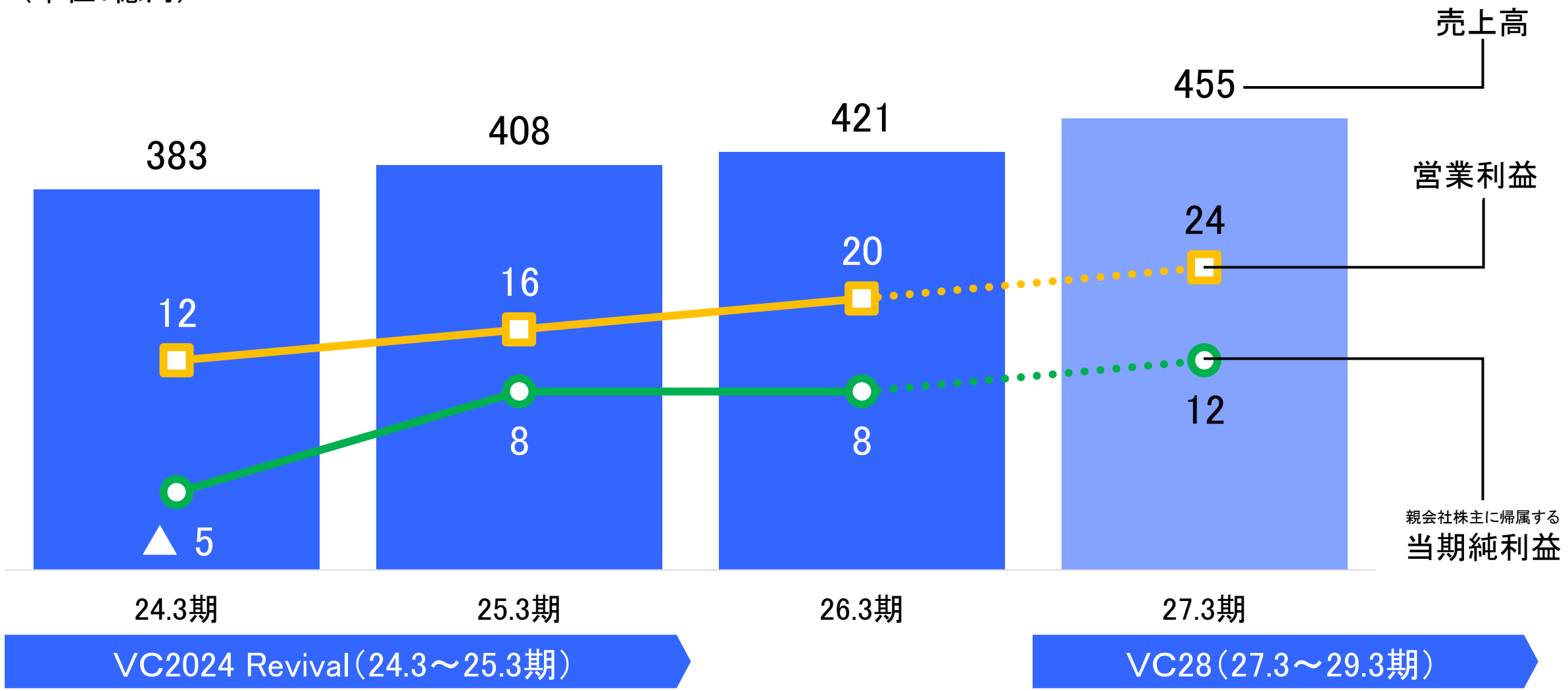
| | |
|---|---|
| 2027年3月期 配当予想 | 20円10銭（予定）＝ 中間 10円05銭 ＋ 期末 10円05銭 |

【為替レート】 1人民元＝22円55銭／1USドル＝155円39銭　【設備投資】 設備投資額：16億円　減価償却費：12億円


© PUNCH INDUSTRY

# 経営数値の推移予想

（単位：億円）





© PUNCH INDUSTRY

# まとめ

**強固な金型部品事業を基盤に成長事業を育て、株主の皆様へ還元する**

## 強み

- 高度な精密加工技術 充実した加工設備
- グローバル ネットワーク
- カタログ品・特注品 への対応力

## 成果

- 特注金型部品の 世界シェアNo.1 ※当社推計
- 新たな成長分野 への挑戦

## 成長戦略

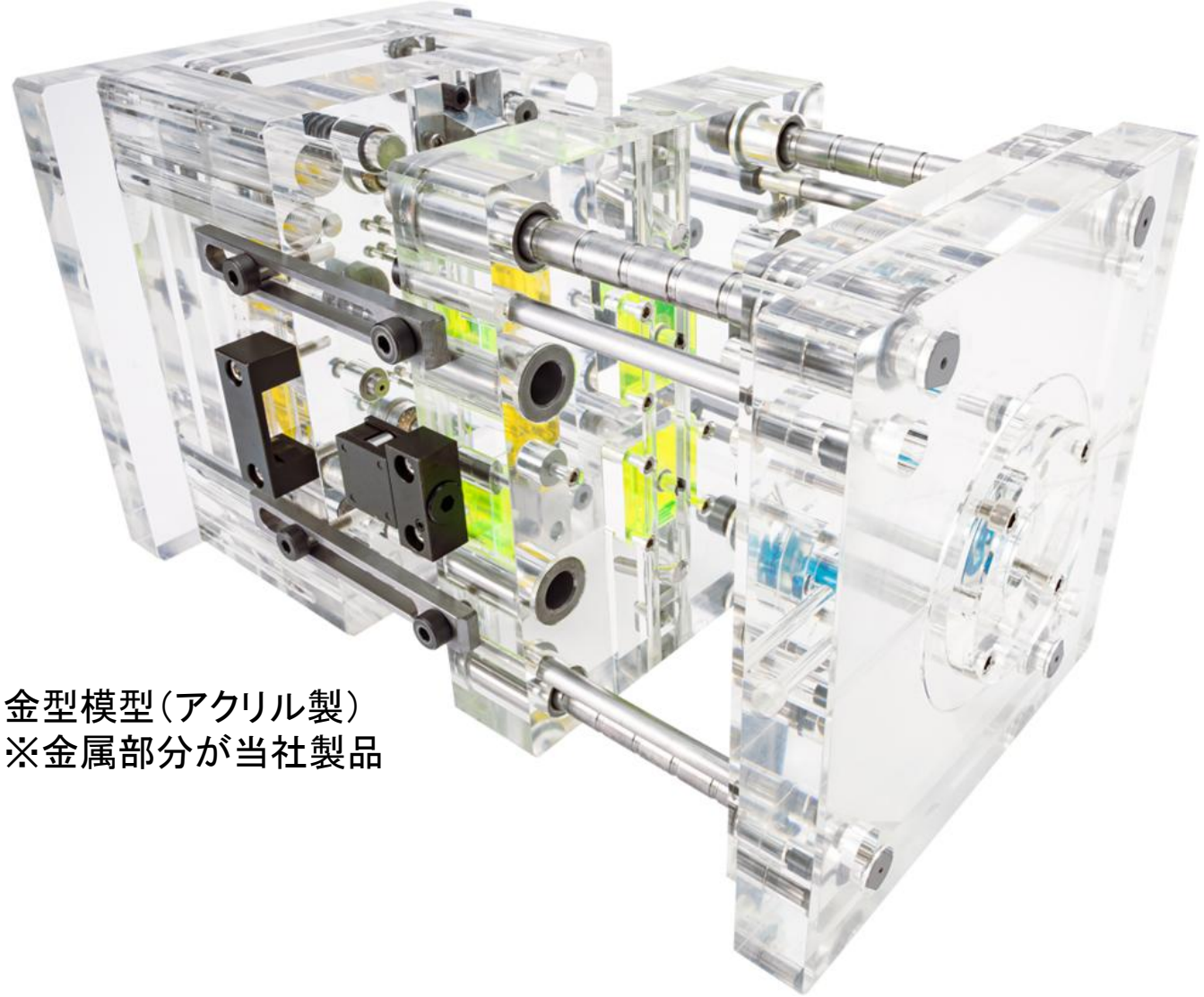
長期ビジョン
中期経営計画

- 金型部品事業の 収益性改善
- 第2の収益柱である FA事業の育成
- M&A、協業による 事業ポートフォリオ高度化

**株主還元方針**

【安定配当】配当性向30%以上・DOE3%以上の高い方を選択


© PUNCH INDUSTRY



金型模型（アクリル製）
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社　コーポレート・コミュニケーション部　広報IR課　電話：03-5753-3130　　e-mail：info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**
本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。